

令和2年度 第1回群馬支部評議会 概要報告（速報）

開催日	令和2年7月17日 金曜日 13時～
開催場所	K‘B I X元気21まえばし 501号室
出席者	新井評議員、木村評議員、小暮評議員、齋藤評議員、坂西評議員、坂庭評議員、坂本評議員、田子評議員、細野評議員（五十音順）
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和元年度決算報告について 2. 令和元年度群馬支部事業報告について 3. 令和3年度支部保険者機能強化予算の検討について
議事概要 （主な意見等）	<p>各議題につき事務局より資料に基づき説明。主な質疑応答内容は以下の通り。</p> <p>○議題1. 令和元年度決算報告について</p> <p>■資料1-1 協会けんぽの令和元年度決算見込み（医療分）について</p> <p>■資料1-2 令和元年度 群馬支部の収支決算（暫定版）</p> <p>〔学識経験者〕</p> <p>準備金残高が4.3カ月分となったが、国庫補助率の見直し等の影響はあるか。</p> <p>〔事務局〕</p> <p>準備金が積み上がることにより平均保険料率を引き下げた場合には、国庫補助率の見直しという可能性はある。準備金のあり方については中長期的な考えのもと、協会財政の将来の見通しを踏まえ、平均保険料率10%を維持することで一定の準備金を確保してきたところ。</p> <p>〔学識経験者〕</p> <p>新型コロナウイルスの影響で医療費は減少しているのか。減少していれば保険料率の低下につながるのか。</p> <p>〔事務局〕</p> <p>令和2年の3月から5月と前年の同月とを比較すると医療費は減少しているが、事業所からの保険料収入が減少する可能性があるため、保険料率の低下につながるとはかぎらない。</p>

○議題 2. 令和元年度群馬支部事業報告について

■資料 2-1 令和元年度 群馬支部事業計画実施状況

■資料 2-2 令和 2 年度群馬支部事業計画について

〔学識経験者〕

加入者理解度調査とはどういったものか。理解度を高めることはどういったことにつながるのか。

〔事務局〕

主に保険料、健診・保健指導、その他の協会けんぽの取組、医療のかかり方、現金給付についてアンケート方式で加入者の理解度を調査するもの。理解度を高めることで、例えば、健診等をより多く加入者が受け、自身の健康づくり、ひいては医療費の適正化につながると考え理解度の向上に努めている。

〔事業主代表〕

加入者の理解度向上にしっかり取り組んでいただきたい。

〔事務局〕

ひとつひとつの広報を分かりやすく、加入者に届く広報を実施し理解度の向上に努める。

〔被保険者代表〕

データヘルス計画にある活動量計の貸し出し事業について、被保険者に対して直接広報するのはどうか。

〔事務局〕

健康宣言事業所登録時のメリットの一つとして広報している。宣言事業所に対し再度機会を捉えて広報を行っている。そのため、事業主を経由しての利用となる。また、健康セミナーの講師を無料で派遣する事業も行っているので併せて広報強化に努める。

〔学識経験者〕

債権回収の金額は、すべて資格喪失後受診によるものなのか。

[事務局]

資格喪失後受診にかかる返納金のほか、交通事故等の損害賠償金や業務上のケガでの返納金等を含むもの。

○議題 3. 令和 3 年度支部保険者機能強化予算の検討について

■資料 3-1 令和元年度 支部保険者機能強化予算執行実績

■資料 3-2 令和 2 年度支部保険者機能強化予算

■資料 3-3 令和 3 年度 支部保険者機能強化予算（案）

[学識経験者]

令和 3 年度支部保険者機能強化予算（案）にある「事務説明会の実施」の動画作成について、動画視聴後のアンケートを作成するとよいのではないかと。大学でも採用している。ポイントとなる箇所を 10 くらいの設問で数パターン用意する。その回答のために繰り返し動画を見てもらうことで、より視聴者の理解も深まる。

[学識経験者]

東京支部では FM で番組を作成しているが、関東の支部で手を組んで CM 等を作成するとインパクトがあるのではないかと。

[事務局]

昨年、関東甲信にある支部が共同で費用を出し合い、キー局で CM を流すという案があったのだが、参加を見合わせる支部があり実現には至らなかった。

[事業主代表]

協会けんぽが知ってほしいことと、加入者が知りたいこととは異なるのではないかと。加入者がより健康になる内容とか、医療費を安くする方法など広報してもらえるとありがたい。

[事務局]

加入者に協会けんぽの制度や事業を活用していただきたいので、少しでも多くの方に知っていただきたいと考えている。また、医療のかかり方など、正しい知識を持ち行動していただくことにつながる広報を実施していく。

[学識経験者]

最近、携帯会社と連携しポイントで誘導してアンケートをする企業もある。このような手法を用いて協会けんぽの PR をする方法もあるのではないかと。

[被保険者代表]

前回評議会において、評議会資料提供方法について経費面より発言させていただいたが、早速対応いただきありがとうございました。

本日配布された外国人向けのチラシは、どのような形で配布されているのか。新規取得のときに被保険者証を送付する際に同封できれば、直接被保険者の手元に届き、より確実に広報できる。

[事務局]

労働基準監督署、ハローワーク、県内の商工会議所や年金事務所等に配布し、外国人労働者に渡るよう依頼をしている。なお、被保険者証の送付はアウトソース化されており、同封する資料は決められてしまっているため同封はできない。

また、外国人労働者が多く、なかなか保険証回収等について理解してもらうことが難しいという会社には直接チラシを送付している。今後も外国人労働者の手元に届くよう周知、広報を考えていきたい。

○事務局から報告事項

■参考資料に基づき報告

・意見等なし

特記事項

・令和2年度第1回群馬支部評議会傍聴者 報道機関関係者1名

※翌日新聞掲載あり